



発行 R4.11.15
山口市教育委員会
社会教育課

名田島・嘉川・小郡 特集号 (令和3年度・4年度の取組から)

学びの支援の場が広がっています。

「ろぼう塾」は「〇〇ができる人はいませんか?」という学校や地域からの要望と、
「〇〇の経験を活かしたい」という地域の方の熱意」をつなげる山口市の人材バンクです。
様々な活動の一部をご紹介します。

名田島小学校

米づくりにチャレンジ



今年も内田顯正さんのお世話のもと、名田島農産さんや地域の方々にご協力いただきながら、6月下旬に田植えを行うことができました。子どもたちの植え付けた苗は、名田島農産のみなさんに苗床づくりから教えていただいて育てたもので、秋には、稻刈りやはぜかけ、脱穀などを体験します。

興進小学校

しいたけの原木づくりと菌打ち



興進教育会環境支援部のみなさんのご指導により、3・4年生がしいたけの菌打ち体験をしました。菌打ちをする原木は、11月に環境支援部のみなさんが学校林から切り出して準備してくださったものです。子どもたちは、大きなしいたけが収穫できることをとても楽しみにしています。

川西中学校

門松づくり



12月末に、地域学校協働活動推進員で、路傍塾にも登録されている今藤恵子さんをはじめ、多くの地域の方々を講師に迎え、「門松づくり」をしました。竹を切るところから、竹を組んで枠を作り、飾り付けまで熱心に指導してください、立派な門松を飾ることができました。参加した生徒たちは、地域の方々とふれあいながら、仲間と協力して物づくりに携わる貴重な体験をさせていただき、意義深い一日となりました。

小郡小学校

ウン知育教室



株式会社ヤカルト山陽山口本社の講師の方にお越しいただき、「うんち」は体の健康状態を教えてくれる「おたより」であることを学びました。いい「うんち」をつくるためには、次のことが大切であることを学びました。

- ①好き嫌いなく食べること。
- ②腸の中によい菌をふやすこと。
- ③規則正しい生活リズムと運動。



1学期末、5年生と6年生は、算数科の学習で苦手に感じていた問題等にチャレンジして「みんなで伸びたぞー」と実感できることをねらいとした、「みん伸び(みんのび)プロジェクト」に取り組んでいます。本校教員に加え、路傍塾をはじめとする多くの地域ボランティアのみなさんにもお力添えをいただいて、子どもたち一人ひとりへのアドバイスを充実させる体制を整えることができたので、子どもたちも自信を持ってチャレンジすることができました。



INTERVIEW

川西中学校区を中心に活躍されている
今藤恵子さんにお話を聞きました。



- 路傍塾は平成23年にスタートしましたが、最初からのメンバーとして活動を始められた、そのきっかけを教えてください。

もともと地域の方々が学校に協力的で、私も以前から学校でいろいろな活動をしていたので、自然にメンバーに登録しました。

- 今回ご紹介した川西中学校での門松づくりは、多くの地域の方々が講師として参加される活動となっていますが、どのような経緯で始められたのですか。

四季折々の地域の伝統や風習に触れて欲しいということと、多くの地域の方々と生徒のみなさんがいっしょになって何かしたいとの思いから始めました。

- 路傍塾の他、食生活改善推進委員会にも所属されるなど、地域の様々な場面でご活躍されていますが、そのエネルギーはどこから得られているのですか。

生徒のみなさんからたくさんの元気をもらっています。お礼の手紙もいただきました。肩をマッサージしてもらったこともあります。町で挨拶してもらったときもとてもうれしかったです。

- 新型コロナウイルスによる活動への影響はありますか。

この2年間はコロナの影響で活動があまりできませんでした。もともと花を学校に持てこられる方がおられるなど、素敵な地域なので、変わったというより、もともとの姿に戻りつつあるという感じです。生徒のみなさんによる「ボランティアサークルきずな」による地域行事へのお手伝いも盛んになりました。

- これから学校や地域でそれぞれの経験や熱意を活かした活動を始めたいと思われている方に、アドバイスをお願いします。

まずは、学校や地域で何が求められているのか知ることでしょうか。すでに活動されている人に聞くのもいいかもしれません。生徒のみなさんから感謝の言葉をもらったら、続けることができるんじゃないでしょうか。

ありがとうございました。
これからも様々な場面で
ご活躍ください。

